

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

【研究検査】

- Y染色体微小欠失（AZF欠失） : 項目コード 7677

受託開始日

平成29年2月6日（月）受付分より新規受託開始



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL. 045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL. 048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL. 075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL. 03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL. 025-275-0161

新規受託項目

項目 コード	検査項目	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
7677	倫理指針対象 Y染色体微小欠失 (AZF欠失)	全血 5.0mL	E-1 冷蔵	PCR- rSSO法		4～9日	未収載	*イ

検査場所：保健科学研究所 第3ラボラトリー（略号：*イ）

▼ 臨床的意義

男性不妊症の原因の一つとして、Y染色体長腕上に存在する「Azoospermia factor (AZF)」領域の微小欠失が関係していることが知られ、無精子症患者の5～10%にこのAZF領域の欠失が認められるといわれています。

AZF領域は3つの領域（AZFa、AZFb、AZFc）に分かれており、このうちどれが欠失しても無精子症を呈しますが、その欠失パターンと精巣内精子採取術（Testicular sperm extraction：TESE）による精子回収率の間に関連性のあることが知られています。AZFa、AZFbまたはAZFb+cが欠失している場合、TESEによる精子回収の可能性はありませんが、AZFc単独の欠失の場合、精子形成能が残存し、約50～70%の確率で精子回収できる可能性があります。

本検査は、日本人に適したSTS（Sequence tag site）マーカーを用いて、AZF微小欠失部位を特定します。男性不妊症の原因究明またはTESEの適用等の治療方針を検討するうえで有用です。

▼ ご依頼時と結果報告に関する注意点

- ①他項目との重複依頼は避けて下さい。
- ②本検査はコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに十分ご注意下さい。
- ③ご依頼時は弊社「遺伝学的検査汎用依頼書」をご利用下さい。検査結果は匿名番号にて、ご担当医師宛てに親展扱いの封書でお届け致します。
- ④本検査は倫理指針対象の遺伝学的検査となりますので、検査の実施に際しては、医師により被験者に対して検査の目的や方法、限界等について十分説明され、また必要に応じて遺伝カウンセリングを受けたうえで、被検者の自由意思による同意（インフォームド・コンセント）が得られている必要があります。

▼ 検査方法参考文献

高 栄哲，他：Journal of Mammalian Ova Research 30 (4)：135-144, 2013.